

2011年4月号

Vol. 12

発行者／財団法人千葉県文化振興財団 理事長 佐久間 豊
〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号 TEL 043-222-0077 FAX 043-221-6438
E-Mail info@cbs.or.jp ホームページ <http://www.cbs.or.jp/>

～千葉県少年少女オーケストラ 結成 15周年～ —第15回定期演奏会を終えて—

開演前、東日本大震災で犠牲になられた方々へ追悼の意を表して急遽演奏した、バッハの管弦楽組曲第3番より「アリア」に続いて、森田知事も加わり会場全員で黙祷し、本プログラムのヴェルディの「レクイエム」が演奏されました。



佐渡裕氏の力強い指揮

「団員の皆さんの祈りと充実感がひしひしと伝わってきました」
「心揺さぶられて涙が出ました。この時期にこのような演奏会に来られて良かった」
千葉県文化会館大ホール一杯のお客様から喜んでいただいた、第15回定期演奏会(4/2)は、スタンディング・オベーションが起こり、感動のうちに終了しました。この状況下で開催された、メッセージ性の強い演奏会は、質の高い合唱の東京オペラシンガーズ、気迫あふれるソリスト、情熱的な指揮者、すべての人の力を借りて、心を打つ演奏になり、特別な本番となりました。



お話をする知事

指揮者、佐渡裕氏からのメッセージ

結成 15 周年、本当におめでとうございます。

結成 15 周年という記念すべき年に指揮台に上がることができ大変光栄に思います。

皆さんとの出会いには何か運命的なものを感じます。

震災からまだ1ヶ月も経たない時期に、皆さんとこうして音楽の持つ偉大で不思議な力を分かち合うことができたことに、心から感謝いたします。

これからも千葉県を代表するオーケストラとして益々のご活躍をお祈りしています。

2011.4.2 千葉県文化会館にて



佐治音楽監督



指揮者自ら募金活動

演奏会当日、佐渡裕氏は東日本大震災の復興支援として団員とともにロビーで募金活動を行いました。

義援金の総額52万8340円は、千葉県および日本赤十字社を通じて被災地の皆様のもとへ送られます。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



「千葉県少年少女オーケストラと アキラさんの大発見コンサート」 今年も8月に！



テレビや演奏会で大人気の宮川彬良さんが、今年の夏の千葉県文化会館大ホールと東金文化会館大ホールで、指揮はもちろんのことピアノ、お話を交えての楽しい楽しいコンサートを皆さんにお届けします。今年も、小さい子どもも知っている「ピピディ・ハピディ・プー」から、お父さん・お母さん世代に懐かしい「いい日旅立ち～ヨーロッパ編・アメリカ編」など、音楽の楽しさを大発見できるプログラムです。 チケットはお早めにお買い求めください！！

2011. 8. 27 (土) 14 時開演 千葉県文化会館 大ホール 【全席自由】 お問合せ：千葉県文化会館 043-222-0201
28 (日) 14 時開演 東金文化会館 大ホール 【全席指定】 お問合せ：東金文化会館 0475-55-6211

財団事業ロゴマークを作成しました

千葉県文化振興財団

財団事業ロゴマークは、財団が新しい事業分野へ進出するといった意気込みと、幅広い事業展開に向けて財団の広報事業に統一感を持たせるために作成しました。
決定に当たっては県民のみならずからのたくさんのご投票をいただきました。

ロゴマークのイメージ

大きな「C」は、多くの県民と文化の交流、ふれ合いがもたらす多様なジャンルへの取組を多色のカラートーンで表現し、小さな「C」は、財団が県内で行われている多彩な文化活動に積極的に取り組んでいくことを表しています。

また、それぞれの「C」の空間は、「県民がいつでも取組に参加できる」というイメージを持たせてあります。



小松玲子座公演『わが町』へようこそ！

千葉県文化会館

千葉市を中心に積極的に活躍している劇団、小松玲子座公演を5月7日（土）午後2時に千葉県文化会館小ホールにて行います。

公演は、あのアメリカの劇作家、ソートン・ワイルダーの名作『わが町』です。1938年に発表され、その年のピューリッツァー賞を受賞、その後も全世界で上演され続けている名作です。この作品は、あえて舞台装置を設けず、ほぼ何も無い舞台の上で、役者と観客の相互の想像力でそれぞれの舞台を創りだします。
この作品に対するメッセージを小松玲子さんからいただいています。



演劇-芝居-とは、まず始めに言葉ありき。そして、人生を、人間を深く掘りさげ、その上で易しく、抒情性をもって表現されたもの。『わが町』はその条件を十二分に満した作品です。第1幕 日常生活 第2幕 恋愛と結婚 第3幕 死の世界と一人の人間の一生が -どこにでも存在する- 二つの家とそれをとり巻く街の人たちと共に描かれます。
どうぞ、みなさん、自分だけの『わが町』を完成させてください。

問合せ：千葉県文化会館 電話 043-222-0201

千葉県東総文化会館開館20周年記念事業
高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト～女神たちの饗宴～

千葉県東総文化会館

今年は、千葉県東総文化会館は開館20周年を迎えます。この記念の年に、クラシックをより身近に感じていただけるスペシャルコンサートを、6月5日（日）午後3時にお贈りします。

デビュー15周年を迎える高嶋ちさ子さんが、華やかな12人のヴァイオリニストと一緒に奏でる、観ても聴いても美しいアンサンブルで、音楽とトークの両方が味わえる高嶋流ステージです。たくさんの魅力がギュッとつまった夢のひとつときを、どうぞお楽しみください。

女神たちの素敵なヴァイオリンの音色で心を癒し、東総地域の皆さんが少しでも元気を取り戻して、明るい笑顔になれますように！！

問合せ：千葉県東総文化会館 電話 0479-64-2001



財団のさまざまな取り組み・・・けんぶん探検ツアー

千葉県文化会館では、普段は見る機会の少ない舞台設備や操作室などの舞台裏を探検できるツアーを行います。ホールスタッフが施設の概要などをわかりやすく説明します。是非夏休みに参加をしてみたいかですか？

参加するまえに、覚えておくと楽しくなる舞台用語をお教えます。

～「上手」(かみて)「下手」(しもて)～

客席から舞台を見て(お客様視線で)右側が上手、左側が下手です。なぜ「右」「左」ではなく、「上手」「下手」というと、多くの人が動く舞台上、準備やリハーサル等の時、舞台から見ても、客席から見ても皆が同じ方向を認識して、やりとりするうえで不可欠だからです。一説には、「身分の高い役を向かって右に、逆に身分の低い役は左に」というのがお芝居の約束事になり、上手、下手という言葉ができたそうです。

8月25日(木) 問合せ：千葉県文化会館 電話 043-222-0201

編集後記

千葉県文化会館や東総文化会館のまわりも、春のおとづれを告げる桜もおわり、若葉が目にしみる季節となりました。

今年も芸術性の高い『プレミアム・クラシック・シリーズ』、「千葉県少年少女オーケストラとアキラさんの大発見コンサート」及び、県民参加の東総ホールオペラ「カルメン」等多彩なジャンルのイベントを通して四季の訪れを感じてみてはいかがでしょうか。

ひとりひとりの力で、新たな文化をつくり千葉県を元気に盛り上げていきましょう。